

鳥取県西部地震から20年 地震保険での支払額は28億円

～ その後に発生した2016年鳥取県中部地震では支払額55億円 ～

2000年10月6日に発生した平成12年(2000年)鳥取県西部地震から20年が経過します。この地震の規模を示すマグニチュードは7.3と1995年の阪神・淡路大震災の地震と並ぶ規模の大きな地震でした。鳥取県を中心に住宅の全壊・半壊が3,500棟を超える被害となりました。

地震保険では4,079件、28億円の保険金をお支払いし、当時としては阪神淡路・大震災、2001年芸予地震に次ぐ過去3番目に大きなお支払額となりました。

鳥取県では1943年の鳥取地震(マグニチュード7.2)や最近では2016年の鳥取県中部地震(マグニチュード6.6)の大きな地震が発生しています。

2016年鳥取県中部地震では、これまでに地震保険で7,110件、55億円の保険金をお支払いしています。

この地震の記憶を風化させることなく、今後とも、地震・噴火・津波の備えとして地震保険が生活再建の力になることをお伝えしてまいります。

1. 平成12年鳥取県西部地震の概要

2000年10月6日午後1時30分にマグニチュード7.3の地震が発生し、鳥取県日野町、鳥取県境港市で震度6強を観測しました。

2. 平成12年鳥取県西部地震の地震保険再保険金支払い状況

2020年3月末現在

地震名	地震発生日	地震規模	再保険金	
			証券件数	支払再保険金
平成12年鳥取県西部地震	2000年10月6日	M7.3	4,079件	28億円

[ご参考：鳥取県中部を震源とする地震の地震保険再保険金支払い状況 2020年3月末現在]

地震名	地震発生日	地震規模	再保険金	
			証券件数	支払再保険金
鳥取県中部を震源とする地震	2016年10月21日	M6.6	7,110件	55億円

- ・地震保険は地震等による被災者の生活の安定に寄与することを目的として、政府と民間損害保険会社が共同して運営する保険です。

以上